

障害者の勤続年数について

(平成20年度障害者雇用実態調査結果より)

身体障害者

障害の種類	平均勤続年数
全体	9年 2月
視覚障害	8年10月
聴覚言語障害	11年 9月
肢体不自由	11年 5月
内部障害	6年 0月
重複障害	8年 2月

知的障害者

障害の程度	平均勤続年数
全体	9年 2月
重度	5年 6月
重度以外	12年 3月

精神障害者

障害の確認方法・疾患		平均勤続年数
全体		6年 4月
精神障害者 保健福祉手 帳により確 認している 場合	1級	3年 8月
	2級	7年 6月
	3級	4年 7月
	等級不明	6年 8月
医師の診断 書により確 認している 場合	統合失調症	4年 9月
	そううつ病	7年 3月
	てんかん	4年 5月

※ 平成20年度障害者雇用実態調査は、雇用している身体障害者、知的障害者及び精神障害者の状況(賃金、労働時間、雇用管理上の措置等)について、常用労働者5人以上を雇用する民営事業所のうち無作為抽出した約7500事業所を対象に調査をしたもの。

回答があった5,511事業所(回収率73.2%)において雇用されている身体障害者は20,179人、知的障害者は2,438人、精神障害者は755人であった。なお、集計結果については、産業別、規模別に回収事業所数/母集団事業所数の逆数を還元倍率として推計して計算を行っている。

<参考> 一般労働者の平均勤続年数 11.6年

10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所(62,302事業所、有効回答45,010事業所)の常用労働者の状況
(平成20年賃金構造基本統計調査)

精神障害者の定着状況について

1 「精神障害者の雇用促進のための就業状況等に関する調査研究」

○ ハローワークにおける職業紹介により、平成20年7月から同年10月末までに就職した精神障害者について、平成21年2月27日時点と同年10月末時点の職場定着状況について調査。(n=962件)

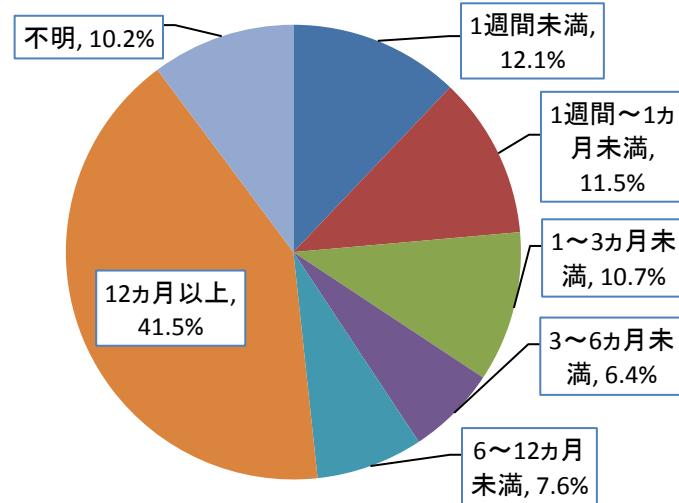
○ 在職期間が6か月以上は、49.1%

- ・障害者求人: 66.1%
- ・一般求人: 障害開示42.2%、非開示24.3%
- ・チーム支援: あり67.1%、なし43.3%

資料出所: (独)高齢・障害者雇用支援機構「精神障害者の雇用促進のための就業状況等に関する調査研究」(2010年3月)

* 全国のハローワーク本所461所(平成20年度)から抽出した110所を調査

ハローワークにおける職業紹介により就職した精神障害者の在職期間(n=962)



2 障害者就業・生活支援センター利用者の定着状況

○ 平成21年4月から平成22年3月末までに就職した精神障害者(2,023人)のうち、就職後6ヶ月経過時点での職場定着状況。(* 平成21年度に運営された247センターの実績を集計)

1,425人 / 2,023人 = 70.4%

3 地域障害者職業センターのジョブコーチ支援対象者の定着状況

○ 平成21年10月から平成22年9月までのジョブコーチ支援を終了した精神障害者(671人)のうち、支援終了後6ヶ月経過時点での職場定着状況。

544人 / 671人 = 81.1%